

## 千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.172

【発行】千葉県テレビ伝道協会  
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2  
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」  
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072  
E-mail: [info@chiba.life-line.tv](mailto:info@chiba.life-line.tv)  
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>  
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台  
2-1 OCCビル  
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650  
E-mail: [mail@pba-net.com](mailto:mail@pba-net.com)  
ホームページ <http://www.pba-net.com>  
でんわ世の光 03-3291-9061

### 「次の世代に信仰のバトンを」

ルーテル同胞 柏グローリーチャペル牧師 佐々木 正幸

昔、ある本で読んだ話である。コルシカ島のある地域は、代々続く栗の名産地である。栽培地に入ると、園の所々に成木に混って栗の若木、幼木が植えられている。実を結ばなくなった木が姿を消しても、大事に育てられている若木が生長しているの、間隔を空けないで実が結ばれる。だから、この地域は何世代にも渡っておいしい栗を生産し続けているのだという。彼らの知恵にいたく感動したことを思い出す。

話は変わるが、栗の園ならぬ教会の園では若木ならぬ若者、子どもたちがめっきり少なくなった。子どもたち、若者たちの声がほとんど聞こえない教会もある。ある調査によると、クリスチャンホームで育った子ども達の90%は中学・高校時代に教会から離れてしまうという。どんな会社、団体、グループであれ、次の世代が育っていなければ将来は闇い。教会も次の世代を担う若木が育っていなければ前途は暗い。

先の話にもどるが、私が留意したいのは、若木は自然に生えたのではなく、やがて使命を終えてゆく老木の代わりとして植えられ、大事に育てられていたということである。私たちはよく勘違いをする。「良い会社だ。」「良い子だ。」「良い選手だ。」しかし、彼らは育てられ、訓練され、しつけられたのである。良い子の背後に賢い父や母がいるのである。私たちは多くのすばらしいものを見て感動する。そして、すばらしいことをした人びとに拍手かっさいをおくる。しかし、もう一度言わせて頂く。「偶然ではない、それは育てられた」のである。

私はこれからの時代に危機感を感じている。しかし、歴史を振り返ってみると、主の教会はどんな状況にあっても消えることがなかったし、教会にはキリストにあって、どんな障壁をも打ち破る「復元力」のようなものを持っていると信じている。だから失望してはいない。けれども、今こそ、次世代を担う若者、子どもたちを獲得し信仰のバトンを渡すべく養い育てる貴重な時代であると信じる。

「・・・それをあなたがたの子どもたちに命じて、このみおしえのすべてのことばを守り行わせなさい。これは、あなたがたにとって、むなしいことばではなく、あなたがたのいのちであるからだ。」

(申命記 32 : 46~47)

お茶の間に福音！

チバテレビ土曜あさ7時、心をいやす30分「ライフ・ライン」

ご家族でお楽しみ下さい。